

大阪府立生野高等学校創立一〇〇周年記念事業

募金趣意書

謹啓

皆様方には、ますますご健勝にてご活躍のことと存じます。日頃は本校の教育に深いご理解を賜るとともに、格段のご協力、ご支援をいただき誠に有り難く厚く御礼申し上げます。

さて、我が生野高等学校は西暦二〇二〇年に創立一〇〇周年の慶事を迎えます。顧みますと大正デモクラシーの高揚するなか、大正九年に大阪府立第十二中学校として創設され、翌大正十年大阪府立生野中学校と改称され、旧東成郡生野村（現在の生野区）の地にその歴史を刻み始めました。爾来初代校長池田多助先生により定められた建学の精神「五綱領」は現在も変わりなく受け継がれております。昭和二十三年学制改革により校名を大阪府立生野高等学校と改め、男女共学の新制高等学校として再出発しました。その後昭和四十四年には愛着の地から現在の松原市に広々とした校地を得て移転し、文部科学省より「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）」に、大阪府より「グローバルリーダーズハイスクール（GLHS）」に指定されるなど今日の輝かしい栄光と隆盛を築き上げてきました。

創立以来、ある時は歴史の大波に翻弄されながらも様々な紆余曲折を乗り越え、母校は「剛健、質実、自重、自治、至誠」そして文武両道の精神を連綿と紡いでまいりました。ここに集い学ぶ者は、百花に先駆け風雪を凌いで咲く白梅のように、困難に立ち向かう厳しい気概とまごころを併せ持つ大切さを教えられ、気づき、そして育みました。その優れた資質、能力を開花させ各界各層で広く活躍しておられる同窓各位は、我々の誇りとする処です。この成果は、ひとえに学校、同窓会、PTA、生親会がひとつとなりしっかりと母校の歴史を支える生野高等学校の伝統の賜物です。この力強いすばらしい伝統があるからこそ、これからの生野高等学校もますます発展、成長してゆくことが大いに期待されます。

創立一〇〇周年を迎えるにあたり皆様方への感謝と次世代へのメッセージを伝えるべく同窓会、PTA、生親会、学校の四団体で協議の上「創立一〇〇周年記念事業実行委員会」を設立し、記念事業として正門及びプロムナードの建設、体育館裏練習場の整備を重点事業とする左記の記念事業概要を決定いたしました。「正門」は新しく移り住んだ松原校舎に次の一〇〇年を高らかに宣言するモニュメントとして建築します。その前面には大切に保管されている旧校舎の銘板をはじめこみ建学の精神を受け継ぐ証といたします。「体育館裏練習場の整備」はこれからの母校を担う生徒に、雨天でも活動できる場を提供し授業、部活動で活用いただき益々文武両道に精進されることを期待します。これらの重点事業を完成後速やかに母校に寄附させていただきます、「記念式典、祝賀会等の実施」と「生野高等学校一〇〇年史の刊行」等とともに是非とも成功させたいものです。

つきましては是非この事業にご賛同賜り、誠に恐縮ではございますがその資金といたしまして皆様からのご寄附を仰ぎたく謹んでお願いいたします。本記念事業が成功裡に行われ母校の更なる発展の礎となりますよう皆様方のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

謹白

平成三十年五月吉日

大阪府立生野高等学校創立一〇〇周年記念事業実行委員会

実行委員長（同窓会会長）雪本 修

副実行委員長（PTA会長）毛見 友彦

副実行委員長（生親会参与）上田 貴広

副実行委員長（学 校 長）岡村 多加志